

B 2 4 1 入門 (PC 実習あり)	<h1>文系のための特許調査入門</h1> <p>各種特許データベースの特徴を理解した的確な検索方法 特許調査担当者として自ら考えて的確な調査を行うスキル</p>
講 師	馬場 淳子 (元 ㈱日本電気特許技術情報センター)
日程・場所	東京会場
	6 月 23 日 (火)
時 間	半日間 (13:30~16:30)
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	24 名 (先着順申し込み)
受講料 (税別)	12,000 円
対 象	特許調査担当の初心者
内 容	
特許調査担当者 (サーチャー) にとって、調査ツールである特許データベースの特徴、性格を理解していないと的確な調査ができません。	
本講座では、いくつかの特許データベースにおける特許情報のデータ構造を知って、どのように特許のデータを探すのかを理解することで、自ら考えて検索を実行するスキルを習得します。文系の方も含めサーチャーが単なる検索代行者ではなく、プロのサーチャーになるための第一段階です。	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> データベースとは <ul style="list-style-type: none"> インデックスって聞くけれど・・・ タームって何のこと？サーチャーの役割 特許情報 <ul style="list-style-type: none"> 書誌事項、明細書には何が書いてあるのか 検索してみよう (実習) <ul style="list-style-type: none"> 出願人検索 特許番号検索 キーワード検索 (用語検索) 特許調査の種類 公知例調査の考え方 <ul style="list-style-type: none"> 公知例として使える対象文献 どのような文献を探すか 公報と基準日 代表的な特許検索ツール 	

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。